

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1293600076	
法人名	医療法人社団 寿光会	
事業所名	グループホーム いきいきの家印西	
所在地	千葉県印西市吉高3139番	
自己評価作成日	平成30年2月7日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム	
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8	
訪問調査日	平成30年2月17日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>行事を多く行ない 皆様に楽しんで過ごしてもらうようにしている。また、子供と交流(小学生や、職員の子供達など)に力を入れています。職員が働いて楽しいと思える雰囲気作りを大事にしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム いきいきの家印西」は新興住宅地の入り口にあり、2階建ての施設で、階毎にユニットが分かれた造りとなっている。また、エレベーターも設置されており、身体状況に応じた対応が可能となっており、入居者の安心・安全が確保されている。「個別ケアの確立」「心の通う介護」「地域社会と連携」「向上心とチームワーク」を主眼とした理念を掲げると共に、行動指針等を記した手帳の配布や、名札の裏に明記し常備する等、全職員が統一したケアの実施に向け一丸となって取り組んでいる。レクリエーション担当者を配置しており、担当者が入居者の要望を基に検討を行い、定期的に外出の機会を確保しており、戸外での楽しみを支援している。同法人の施設とは交流行事も積極的に行われており、入居者の生活活性化に繋がっている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者変更に伴い 地域との密着に力を入れています。事業所理念は、行動指針として各自の名札にに入れ常に持ち歩いています。	「個別ケアの確立」「心の通う介護」「地域社会と連携」「向上心とチームワーク」と言う理念を掲げており、事業所内に掲示している。職員の入職時・研修・会議等を活用して理念の周知・浸透を図っている。また、理念や行動指針等を記した手帳を配布すると共に、名札の裏に明記し常備する等、全職員が統一したケアの実施に向け取り組めるよう工夫している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議などには自治会長様へ出席して頂き、地域の問題に関しては共同で市役所に意見を提出したりしている。散歩は吉高台団地の公園まで歩いて行ったりしている。先日は、地域の餅つき大会に参加させてもらうことあり。	活動としては、運営推進会議への自治会長の出席や団地の餅つき大会への参加等、施設の理解促進に努めると共に、小学生の職場体験受け入れや地域のごみ拾いの手伝い等、地域貢献にも取り組んでいる。施設開設から3年が経過し、地域との交流機会が徐々に増えつつある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今の所はありませんが、管理者がキャラバンメイトの資格を取りましたので 施設の玄関にキャラバンメイト在中している施設として 認知症に関する相談を気軽にできるようにシールを貼る予定です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た議題に関しては、各部署に情報を公開して 出来るところはすぐに改善するようにしています。	年3回、包括支援センター職員・自治会長・入居者・家族等が参加し、運営推進会議を開催している。会議では、施設活動報告や意見・情報交換を行うと共に、事故事例の説明や検討結果を明確にする等、施設の理解促進及びサービスの質の向上に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当の職員の方も 運営推進会議に必ず参加して頂き アドバイスを頂いております。また、疑問点などは連絡をとり確認致しております。	日頃から市に対しては、運営上の相談や報告を行うと共に、運営推進会議を通じて現場の実情を伝える等、連携を図っている。また、市主催の研修へ参加する等、市と共に学ぶことへの推進を図り、サービスの向上に活かしている。	

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1月より身体拘束ゼロ委員会を作成して身体拘束ゼロに向けて動いております。記録なども書き方について職員に徹底してもらい。昼間は、外して対応して 付けない時間を増やしています。	身体拘束排除・虐待防止等におけるマニュアルを整備すると共に、日頃から会議や申し送りなどを通じて、職員全員が身体拘束排除の意義の共通理解を図っており、身体拘束をしない支援の実践に取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、安全確保を心掛け、入居者の自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者様に内出血などできた時は、必ず理由等を聞き 原因の究明と その都度注意をするように伝達するとともに、事故報告書には管理者が注意点を書くようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	管理者自身は「市民後見人」の講習を以前受講しており登録もしているが、特別 職員に講義などは行なっていません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約する際は、時間をかけ 説明して契約して頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会や、面会時に言われた意見等を 書面にしたり、リーダーに伝達したりして情報共有をしてもらい 反映させるようにしています。	家族の訪問時・電話連絡や運営推進会議を活用して、意見・要望の把握に努めている。また、毎月「家族レター」を送付しており、入居者個々の日々の活動や様子を伝える等、施設の理解促進・信頼関係構築に努めている。挙げた意見・要望においては会議や申し送り等を活用し、周知・検討の上、適切な改善に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映			職員アンケートから不足点に対す

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議や 日々の職員からの提案に対していきなり否定せず、話を聞いた上で施設としての意見を伝え「良い」と思う意見は積極的に取り上げるようにしています。	定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案を確認している。法人内に「ホットライン制度」が導入されており、職員が法人幹部に直接、話ができるよう配慮している。また、希望に応じて法人内の他の部署への異動も可能となっており、職員の要望・立場・経験等に応じた学びの機会が、組織内部に確保されている	職員アンケートから人員不足に対する不満や、研修機会確保の要望も挙がっている。今後は人材の確保に努めると共に、職員個々のスキルアップを目指した研修の実施及び人員配置の工夫や労働意欲・チームワーク向上に向けた配慮や対応等、職員の勤務継続に繋がる職場環境の整備を進めていただく事を期待します。

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の日々の努力や、勤務状況などは把握しており それをボーナスに反映したり、資格を取りたいと思う職員に資格の取得の補助を行ない 夢がある職場作りをしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の介護技術等に関する研修があり、情報発信をおこなっている。また、法人内の制度として介護レベル制度があり、技術が基準値まで到達していると給料に反映するようになっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市の講習会や県の研修などに行き 名刺交換等でネットワークを作っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入られた日から しばらくは、毎日様子をお聞きするようしております。また、要望や不安時に傾聴を行ない 安心して生活してもらえるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とは、なるべく会話を行うようにして 面会時などには 即座に日頃の様子が答えられるように常に情報を収集して、手帳に書き込むようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番最初が肝心だと思っています。アセスメントが大事ですのでアセスメントを行ないご本人がどこまでできるか？を見極め 職員に伝達するようになっています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	なるべく、できる事はして頂き 掃除、洗濯 たみ、調理等して頂くようにしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話連絡を密にとり、ご家族で過ごす時間を大切に考え 外泊、外食等自由におこなっていただいております。また、病院受診は基本的にはご家族対応ですが、厳しい時には一緒に受診をしたりしています。		

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙を書きたいと言われれば、便箋をお渡して手紙を書いた頂いたり、面会があれば自由に面会して頂いております。	友人・知人・家族の来訪を随時受け付けており、外出・外泊も自由となっている。希望に応じて、手紙のやり取りも支援しており、馴染みの関係継続に努めている。また、地域の商店の利用・お祭り・初詣等、入居者一人ひとりの生活習慣に配慮した関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべく、フロアで過ごして頂き みんなでアクティビティをして頂いたり、普段はベツ生活の方も食事の時に食堂に来て頂いたり、食事の時に入居者様の間入り 皆さんと食事を摂るようにしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養に移られたとしても、「その後 どうですか？」等 電話したり、直接 忘れ物を届けに行くという口実に見に行く時もあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「起きたくない！」時には 無理に起こさずペースに合わせて支援をしております。また、法人内の「夢プラン」という物があり利用者様の意向をお聞きして夢を実現しようという制度があります。	契約時に本人・家族から身体状況・生活歴・意向等を確認していると共に、他事業所や医療機関から情報提供を受けており、より詳細な情報の把握に努めている。また、会議・連絡ノート・申し送り等を活用し、情報の共有及び本人本位の支援を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	何がお好きだった・どんな、性格だったなどを常に考え 問題が起きた時等に、その人にあつた対応をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人、個人のADLを把握して また、体調面等確認考慮して 食事近くなつたら起きていただいたり、体調面を重要視しながら生活を過ごして頂いております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング	計画作成担当者が、ケアプランを作る際に	本人・家族の意向を基に 職員間で検討した	介護計画作成時に担当者会議を開

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常日頃から ご家族からの要望などをお聞きして プランに反映させるようにしております。また、ケアプランを職員も常に見れるようにコピーして各部署にファイルを制作しています。	本人・家族の意向を基に、職員間で検討しながら介護計画の作成を行っている。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を行っており、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。	催し、家族・本人・医療機関等の出席もしくは意見の照会を行い、より意向に沿った介護計画の作成に努めて頂き、適正な介護計画の作成に繋げていただく事を期待します。

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護の記録を常に取り、記録に残していません。日々の介護の日記にまとめが書いてあり また、申し送りノートを作成して情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今までに、したことが無い支援については検討を行ない 出来る限り 入居者様やご家族様の要望や 喜んでもらえるケアを導入するようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の公民館や、公園、スーパー等を把握して買い物に付添、また 散歩の付添い等出来る限り 楽しく、充実のある生活を過ごしてもらえるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医が月に2回あり、電話での緊急対応もでき また、状態によっては 緊急の往診もして下さる体制が出来ている。また、往診医以外でも希望があれば、他の病院の受診の支援や 緊急の専門医への受診の支援を行う。	希望の医療機関への受診及び往診を実施しており、適切な医療受診を支援している。定期的に訪問看護を実施しており、適切な健康管理や医療処置を施している。協力医療機関とは24時間連絡が可能となっており、緊急や急変時における協力体制が整備されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護医との連絡体制ができており、往診前日には情報を流すなど連携体制が出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関があり「印旛日医大」「印西総合病院」「北総内科クリニック」と提携しており、関係作りが出来ている。		

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護も行っており、訪問看護ステーションや訪問医とも看取りの時の契約等決まっている。	終末期・重度化に関する施設方針を契約時に説明し、同意も得ている。必要時には、家族・医師・訪問看護師と相談しながら意向に沿った支援を行っている。また、急変時には医師・看護師とは24時間の連絡が可能となっており、適切な対応が取れるよう体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常に、急変時等はリーダーやユニットリーダーが率先して対応して、その理由等を説明している。また、緊急時には「ユニットリーダー」⇒「管理者」に連絡が来て対応するような仕組みができています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練をおこなっており、対応ができるようになっている。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報機・消火器等の消防設備を設置していると共に、消防避難訓練及び設備点検を実施している。訓練では、消防署立会い訓練や消火器訓練等を行っており、状況に応じた避難方法の確認を行っている。	年2回以上の消防避難訓練を定例化し、災害時・緊急時における対応方法の確認を継続的に行っていただく事を期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に、声掛けに注意して言葉使い等や対応を見ており、間違った声掛けを行っていると指導をしている。自分に置き換えて声掛けや、対応をしてもらっている。	個人情報保護及びプライバシー保護に関するマニュアルの整備や研修を実施しており、意義の周知を図っている。日中は玄関のカギは施錠せず、入居者の自由な生活を支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でも食事後等「寝ますか?」「起きてますか?」等本人の思いに添い「寝たい」と言われれば寝て頂く等ご本人の自己決定に添って支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	上記同様に、ご本人が「嫌」と言われれば、無理に行なわず お部屋で過ごしたいと言われれば自由に過ごして頂いたりしています。		

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝 起床時に 用意した服に対して「こっちが良い！！」と言われれば 変更したり 髪を自分で櫛でセット出来ない方には支援したり、顔が洗えないお客様には温めたタオルをお渡ししたり、拭く介助を行う事があり		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、職員が作り 出来るところは一緒に手伝ってもらい 食べる時は、職員が間に入り 会話しながら食事の時間を楽しんでいます。また、出来る限り自分で食べて頂き 様子を見て食事介助を行なっています。	希望や能力に応じて、食事の準備から片付けまでを共同で行っている。献立及び食材の配達は業者に委託しており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。また、食事担当を設置しており、入居者の希望を取り入れた食事提供を行うと共に、外食会の実施・行事食の提供等、季節や楽しみを感じられる食卓作りに努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記入して 1日トータルの水分量などを出して記録している。栄養バランスは、タイハイさんの管理した食材を使用している。また、腎臓病食 嚥下不良の方にミキサー食の提供等その人に合わせた食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に、必ず声掛けを行ない 口腔ケアをしていただき、出来ない方は 職員が支援をおこなっている。夕食後は、義歯使用の方は、外して毎日ポリドントで消毒を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食後、食前には必ずトイレに行って頂き また、トイレに行きたいと言われれば 対応しています。また、夜間はテープ式使用の入居者様も「トイレに行きたい」と言われれば、トイレにお連れして排泄して頂いております。	排泄チェックリストを活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛け・トイレ誘導を行いながら、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、献立・水分・体操等を工夫し、自然排便を促すと共に、必要に応じて、医師・訪問看護師・薬剤師に相談しながら適切な排便コントロールに努めている。	

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に対しては、体を良く動かして頂いたりトイレ時に「の」の字の煽動運動を腹部マッサージを行ない 排便を促す等している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日は決まってはいるが、その日のご本人の気分により、午前に入ったり 午後に入ったりしている。また、その日に気分がのらず入らなかった時は別の日に振り替える等対応している。	入居者の希望や体調に応じて、柔軟に調整しながら適切な入浴機会の確保に努めている。また、清拭・シャワー浴・部分浴等も実施しており、入居者の清潔保持にも取り組んでいる。他にも、季節の果物や野菜・沐浴剤等を活用し、保温効果・季節感・香りを楽しむことができ、気分転換に繋がるよう、支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間も 皆様 家庭でどのような生活をされていたかを重視して 遅くまでテレビを見たい方は見て頂いて、「寝たい！！」と言われたときに昼でも、夜でもその方の気持ちに添い支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は倉庫で行ない、薬のファイルを作成して 一つ 一つ確認して 薬のみ忘れ等無いようにして、薬の説明書も入れてあり副作用などもすぐに確認できるような体制になっており、変化があれば医師に報告をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の一人一人 お好きな事や得意な事を把握して 掃除や 家庭菜園 料理作り 洗濯物たたみ 等できる事を行なって頂き こちらから押し付けるのではなく ご自分の意思で行なって頂いている。		
49	(18)	○日常的な外出支援			

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩は時間があればおこなっています。その他、小さな買い物でも入居者様を車に乗せて 買い物に行ったりしています。また、誕生日会でご家族様と入居者様と職員で回らずし等にも行きました。	入居者の意向を確認しながら、散歩・買い物・ドライブ等の外出支援を行っている。また、施設敷地内には、ウッドデッキや庭があり、気軽に外の空気を楽しめる環境を整えている。レクリエーション担当を設置しており、担当者が企画・実施し、戸外及び室内での様々な楽しみを支援している。その他にも、同法人の施設との交流行事も行われており、入居者の生活の活性化に繋がっている。	

【千葉県】グループホームいきいきの家印西

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様に了解を取り 月々1,500円まで自由に使えるようになりました。その、金額で月々 買い物や時にはパフェを食べに行ったりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をお願いされたり、手紙を出したい等希望があるときには対応しております。また、届いた手紙はお届けするようにしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節の飾り付けを行ない、行事を味わって頂いております。また、なるべく たくさんの物を置かないようにしております。	共有スペースには、椅子・ソファ・テーブル・和室コーナーが設置されており、入居者が自由にくつろげる環境が整備されている。また、ウッドデッキや庭があり、気軽に外の空気を楽しめるよう、配慮・工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事のテーブルと 普段過ごす ソファは別にしております。各々が自由に過ごせるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく、ご自分の好きな配置や家具を自由にもってきてもらっております。また、ベットが嫌な方は畳みで寝て頂いたりしております。各部屋、TVも自由に見れる体制になっております。	本人の希望に応じて、馴染みの家具等の持ち込みができ、居心地良く生活できるよう配慮している。また、畳・布団を使用する事が可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。各居室に鍵や収納を設置し、プライバシーの確保に配慮すると共に、エアコンが備えられており、適切な空調管理がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リハビリをやりたい！と言われる方は 見守りで行なって頂いたり、掃除をお願いしたり、洗濯たたみや料理作りなど その人にあった生活を過ごして頂いております。		